

産学官金連携マッチング会 in 静岡

大学で生み出された研究シーズや技術を、民間企業との共同研究により産業化へ結びつけるためのマッチング会を開催します。今回は、教員による研究シーズの紹介や、実際に大学と共同研究の実績がある企業からの事例発表を行います。産学官金連携のきっかけに、どうぞお気軽にご参加ください。

清水銀行 × 静岡県立大学が共同開催!!



2018年 **10月16日** (火) **13:30~17:00** (13:00 開場) **参加無料**

大学		産学連携活動の説明と紹介 ～ビジネスチャンスに活用～	大学		肝臓の疾患を予防する ～有効な肝線維症予防法の開発に向けて～
企業		梅にんにくに関する研究開発 ～梅にんにくのある有効成分を用いた機能性食品への取り組み～	大学		昆虫を活用した「食」の研究 ～飼料用昆虫の育種と飼育法の開発に向けて～
企業		静岡県産青みかんに関する研究と商品開発 ～青みかんの中にある有効成分の研究と静岡新名物品化への取り組み～	大学		天然素材で超高齢社会に立ち向かう ～機能性食品開発に向けた基盤研究～

閉会后、発表者との名刺交換・情報交換の場を設けております。

会場

B-nest 静岡市産学交流センター 大会議室

〒420-0857 静岡市葵区御幸町3番地の21 ペガサート7階

- ・ JR 静岡駅から徒歩5分
- ・ 静岡鉄道新静岡駅から徒歩1分

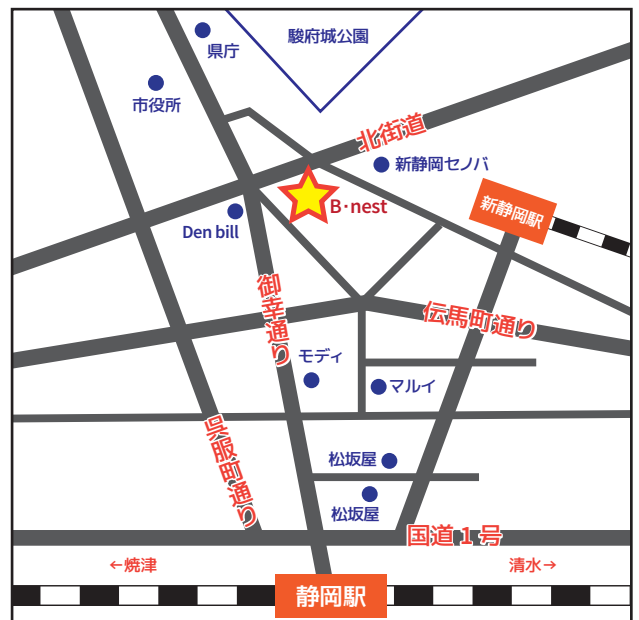
無料駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

お問合せ先

静岡県立大学《地域・産学連携推進室》

TEL : 054-264-5124

E-mail : renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp



産学連携活動の説明と紹介

～ビジネスチャンスに活用～

静岡県立大学 地域・産学連携推進室長 望月数久



本学の理念の一つに「地域社会と協働する広く県民に開かれた大学を目指す」ことがあり、産学官連携の観点からこれを実現するため、副学長を本部長とする産学官連携推進本部では、教員の研究成果を社会に発信する活動をしております。当室もその事務局として、マッチング会等を通じて研究シーズの利活用にご理解いただける企業様が増えていくことの重要性を感じています。今回も、連携が成功している事例等の発表をお願いしておりますので、今後の本学との共同研究等をご検討いただくとともに、今後のご機としていただければ幸いです。

肝臓の疾患を予防する

～有効な肝線維症予防法の開発に向けて～

静岡県立大学 薬学部 助教 山口桃子



肥満人口の増加に伴い、肝線維症の患者数は年々増加していますが、肝線維化の有効な予防法は、いまだに見出されていません。肝線維化には、肝非実質細胞の一つである肝星細胞の活性化が重要な役割を担っています。私たちは、これまでにカフェインが肝星細胞の活性化を抑制することを見出してきました。本発表では、肝星細胞の活性化抑制を標的とした肝線維症予防法の開発について紹介します。新規成分による共同研究を希望します。

梅にんにくに関する研究開発

～梅にんにくのある有効成分を用いた機能性商品への取り組み～

梅辰株式会社 代表取締役 岩倉みゆき



薬学部 井口先生と男性ホルモンのメカニズムに関する共同研究を進めています。男性ホルモンは男女問わず分泌され、最近ではその作用は抗ストレスや抗疲労に及ぶことが解ってきました。更年期による男性ホルモンの減少は男性機能の衰えばかりでなく、男女問わず見た目の老化、精神ストレスの感受性などに影響を及ぼすと言われています。梅にんにくの有効成分に男性ホルモンに影響を与える効果を確認する事ができました。

昆虫を活用した「食」の研究

～飼料用昆虫の育種と飼育法の開発に向けて～

静岡県立大学 食品栄養科学部 助教 大原裕也



昆虫は地球上最大規模のバイオマスであり、タンパク質をはじめとした栄養を豊富に含んでいることから、近年、飼料資源として注目されています。昆虫を飼料として活用するためには、栄養および機能性に富む昆虫飼料・食料の安定的な生産方法を確立することが重要な課題となっています。私たちは現在、シヨウジョウバエをモデルに、栄養価の高い幼虫を育てるために必要な遺伝子と環境要因について研究を行っており、飼料用昆虫の育種と飼育法の開発を目標に掲げた産学連携活動を希望しています。

静岡県産青みかんに関する研究と商品開発

～青みかんの中にある有効成分の研究と静岡新名物品化への取り組み～

株式会社正悦 代表取締役 藤嶋慎太郎



最初は県内の柑橘農家より「生産時に摘果（間引き）し、廃棄しているみかんを買って欲しい」と相談されたことをきっかけに、仕入れた青みかんをお店で絞ってサワーにしたら大人気！！「すっぱみかんサワー」と名付けたところ、またたく間に人気商品となりました。おかげで青みかんの仕入れが増え、農家さんからも喜ばれています。更に、爽やかな酸味と飲用後に健康的な意見が多数寄せられたことから、機能性を追求するために静岡県立大学薬学部教員と共同研究を進めています。

備考：平成 29 年度静岡県産学交流センター「地域課題に係る産学共同研究委託事業」採択

天然素材で超高齢社会に立ち向かう

～機能性食品開発に向けた基盤研究～

静岡県立大学大学院 薬学研究院 特任助教 木村純子



代替医療促進や健康維持のための機能性食品の需要拡大に伴い、天然素材(食品成分)の機能性が注目されています。このことは、静岡の農水産物や未利用資源を有効活用することにもつながります。機能性食品開発における科学的根拠の提示は、安全性・有効性の面から極めて重要です。我々は柑橘類の皮に含まれる成分の脳機能改善効果を見だし、その作用機序を調べてきました。その最新知見とともに、認知症予防効果のある天然素材の機能性評価研究について紹介します。

お申込み・お問い合わせ

静岡県公立大学法人 **静岡県立大学**
地域・産学連携推進室

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52 番 1 号
TEL .054-264-5124 / FAX .054-264-5099

参加をご希望の方は、以下に必要事項をご記入の上、申込用紙を FAX またはメールにてお申込みください。

20181016 Matching

参加申込書

静岡県立大学
地域・産学連携推進室 行

FAX.054-264-5099

E-mail.renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp

会社・部署名			
TEL		E-mail	
住所	□□□-□□□□		
参加者氏名			

※お申込みされた方は、当日直接会場へお越しください。※ご記入いただいた個人情報は、本件マッチング会のご案内の目的以外で使用することはありません。
※反社会的事業者・団体のお申込みは、固くお断りいたします。